

Digital Impression Open System相互運用開始 および

ハンズオンセミナーのご案内

歯科臨床におけるデジタル画像技術の化の流れはこれまでに口腔内写真やレントゲン画像診断などを一気に変革してきた感がありますが、今年は”印象採得”にもその波が押し寄せています。

私も国内ではじめてClassII認証を得た光学印象カメラ「Trophy 3DI (ヨシダ社)」をさっそく臨床に応用していますが、想像以上の正確や簡便さに驚くばかりであり、作製された補綴物の精度は従来とは比較にならないレベルとなっています。このテクノロジーが今後の補綴治療を一変させることを実感しています。これまでに連冠・3ユニットブリッジ・インプラント単冠までの検証を終え、矯正を含めた大型補綴への応用も検証中です。

(写真→<http://goo.gl/TlbdUs> 動画→ <https://youtu.be/YlxxzEsyQo>)



当院では株式会社愛歯との間でデジタル印象システム「DIOS」を独自に構築し、試験運用を重ねてきました。その歯科医院側は光学印象カメラを用意し、少しばかりの技術を体得するだけで容易にジルコニア補綴物をはじめとしたより安全で確実な治療を始めることができます。それは患者はもちろん、社会環境にも多くのメリットを与えるにちがいありません

<http://www.ariyosi.com/menu/zirconia.html>

2015年12月1日からその「DIOS」が一般臨床家に向けても開放される運びとなりました。ぜひ歯科臨床の現場を大きく前進させる可能性を秘めたデジタル印象とオープンシステムのエッセンスに触れていただければ幸いです。

有吉 洋 (ありよし歯科医院 院長)

Digital Impression Open Systemの主なベネフィット

1. フル・デジタルのため印象採得や石膏模型の作製が一切不要となり、コストや時間、患者の負担や産業廃棄物処理費なども削減できる
2. 印象材の収縮や模型膨張の影響が一切排除されたことで従来より47%もの精度向上がみられた
3. スキャンした印象データはインターネット経由にて歯科技工所に電送されるため、補綴物装着までのリードタイムが大幅に短縮される
4. 従来の院内完結型CAD/CAMシステムに比較し初期投資額が低額であり、高度な技術習得も要求しない
5. 院内完結システムでは制作不可能なジルコニア補綴物を作製できるため、PFMと同レベルかそれ以下の形成量にて対応できる
6. 歯科技工所側も大幅なコスト削減が可能となり、当医院においては技工料金が従来より約30%低減することに繋がった

石膏模型を介さないという従来とは異なるシステム運用に関して、カメラの取り扱いをはじめとしてデジタル印象の基本を押さえた慣れやコツもある程度は必要となります。短時間でそれらをご理解いただくためのハンズオンセミナーを企画しましたので、ご案内いたします。

2015.11.23 DIOS-Hands On Seminar

日 時：2015年11月23日（月・祝）14：00～17：00

会 場：株式会社ヨシダ 熊本営業所 研修室

講 師：有吉 洋（ありよし歯科医院院長）

助 手：株式会社愛歯 CAD/CAM担当歯科技工士、株式会社ヨシダ担当者

費 用：3,240円（税込）/1名（当日ご持参ください）

定 員：8名～12名

準備物：スキャン実習用の形成済の臨床模
型（単冠・ブリッジ・インレー
など）を複数ご持参下さい

★後日、株式会社愛歯よりご自身でスキャ
ンしたデータにより作製したジ
ルコニア補綴物を無料でお届けします。

主 催：有限会社アワデント



【お申し込み】

お名前		勤務先	
e-mail		お電話	
連絡事項			

お申し込みはFAX 096-331-0577 アワデントまたは taka@ourdent.comへ